

皆 さんは、自分のことが好きですか？ その答えに堂々と手を挙げられる人は少ないのではないのでしょうか。人見さんは「自分を好きになると、人生を輝かせることができます。一人でも多くの人を前向きにできる仕事がいー！」とコンサルティングを始めました。

最初は、お客さまが集まらない不安な日々でした。「最初の一步は誰もが不安でも、これからいろいろな出会いがあり、楽しい未来が待っている」と持ち前の明るさで人見さんは将来像をイメージしながら笑顔を絶やさず仕事を続けていました。そのうちに、市内だけではなく県内外からのお客さまが増え「新たな自分が発見できた。人生が変わりそう。受けて良かった」と前向きな言葉をいただけたときに仕事へのやりがいを感じる人見さんは言います。仕事を通して人見さんは「女性は今でも自分の個性を出せずに我慢していることが多いと思います。けれど、我慢しなくていい。自分を少しで



いつでも前向きに、輝ける自分を好きになろう



▲一人一人の魅力を引き出すカラーを提案する人見さん

も認めてあげると少しずつ良い方向に進んでいくと思います。そのお手伝いができれば嬉しいです」と笑顔で語ります。

今後の抱負について「今の仕事に加え、自信がない人が前向きになれるよう、内面から自信を持てるような講座やセッションを増やしたいです。また、SNSのフォロワー2万人の経験を生かし、インスタ講座で魅力を引き出すお手伝いをしていきたいです。どんなに大変な状況でも、自分次第で良い方向に変えられると思います。自分の可能性を信じて、より輝ける女性を増やしていきたいです！」と話します。これからは人見さんは前を向き、笑顔を輝かせながら歩き続けます。

(市民記者 飯田 瞬)

キラリ話題の人

人見 伊万里さん

都内のホテル勤務や国内線・国際線のキャビンアテンダントを経験し佐野市に帰郷。現在はパーソナルカラー診断、顔タイプ診断の資格を活用したイメージコンサルタントとして活躍している。



人見さんの活動の様子はInstagramから

ようこそ 市長室からこんにちは！

先月号の広報さのから、見たい知りたい情報をできるだけ探しやすくリニューアルしたところ、たくさんの方から「見やすくなった」とのお声をいただきました。ありがとうございます。

今後も皆さんが読みたくなるような広報紙作りに努めていきます。

さて、今月は本市と群馬県みどり市を結ぶ林道の作原沢入線について、少しお話しします。

「さくはらそうりせん」と読みますが、林業従事者のみならず、自転車やバイクの愛好家たちにも人気のある、本市の隠れた観光スポットです。しかし、土砂流出が発生し、現在、栃木県が治山工事を実施しており、通行止めとなっております。治山工事は、今年度も行われるとのことですが、本市では、工事終了後の通行止めの解除時に向けた取り組みを進めております。もつと多くの皆さんに知っていただきたい観光資源だと考



えておりますので、沢入側である群馬県みどり市と連携を取り、観光での連携周遊なども図っていきたく考えております。みどり市とは、昨年度から担当者レベルでの観光施設などの洗い出しや意見交換などを実施しながら、今後の連携方針を検討しており、昨年のどまんなかフェスタにも参加してもらいました。そして、作原沢入線を本市の新たな観光ルートとして、展望台の設置とその周辺の整備に取り組んでいきたいと考えており、今年度、概略設計を実施する予定で、市外県外から人を呼べる新たな観光ルート(奥佐野)として確立できるよう、着実に進めていきたいと考えております。

佐野市長
金子 裕





台風被害からの復旧復興 数枝橋完成

2019年の台風19号（令和元年東日本台風）により崩落した、会沢町の小曾戸川に架かる「数枝橋」の架け替え工事が終了しました。

小曾戸川は会沢町を水源として葛生駅付近で秋山川と合流する河川で、台風災害の時には葛生地区に甚大な被害をもたらしました。

架け替えられた橋は、幅員が4.7m、橋長が10.9mのコンクリート道路橋です。

「数枝橋」が強靱な橋へと生まれ変わったことにより、会沢地区の皆さんが災害前の日常をまた一つ取り戻すことができました。そして、自然災害に強い道路の確保は、災害の無い安全安心なまちづくりの実現につながっていくことでしょう。

（市民記者 中里聖子）



①完成した数枝橋
②橋げた設置の様子
③工事着工前の様子

琴の美しい音色が3階テラスに響き渡りました



この音とまれ！ 佐野東高等箏曲部 庁舎テラスコンサート

3月27日（月）、市役所3階テラスにて佐野東高等学校箏曲部によるコンサートが開催されました。

生徒たちは「さくらさくら」をはじめとする春の歌を中心に、この時期にぴったりの曲を琴で演奏し、観客を楽しませました。

同部2年の上岡滯愛さんは「去年はコロナの影響で演奏する機会が少なかったので、今回たくさんの人に演奏を聴いてもらえて嬉しい。今後も、演奏を聴いてくれる人たちのために、私たちらしい音を届けたいです」と感想を口にしてくれました。

新しい園舎と遊具に子どもたちもワクワク・ドキドキ



3園目の民営化保育園！ にじの森保育園が開園しました

平成30年に策定された「第2次佐野市保育所整備運営計画」に基づき、本市の公立保育園で最後となる3園目の民営化保育園として開園しました。

にじの森保育園は「子どもたちが健やかに育つ、明日への架け橋・希望の象徴となる保育園」となることを目指しています。

民営化に伴い赤坂保育園は長い歴史に幕を下ろしますが、今後は新たな民間保育園「にじの森保育園」に歴史と保育が引き継がれていきます。